

新総合計画策定に係る市民参画事業・広報について

1 これまでの取り組み

現総合計画においても、実効性を確保する仕組みとして「市民協働」による評価点検を掲げており、下記取り組みを行ってきた。

①市民まちづくりフォーラム

本市の重要プロジェクトの現状を評価し、より良い施策とするための課題などについて、意見・提案をいただくもの。毎年度実施。

平成30年度は、現総合計画の7年間の取り組みの進捗について評価してもらうこととし、62名の参加があった。

②施策目標に関する市民意識調査

実施計画における施策目標や、基本計画に基づく施策に関し、市民へのアンケート調査により、取り組みへの評価やニーズを把握するもの。毎年度実施。

平成30年度は、「未来に向けた仙台市のまちづくり」に関する設問を追加して行った。無作為抽出した市民6,000人に調査票を送付し、2,029人の回答があった。

③前総合計画審議会委員ヒアリング

前総合計画審議会委員のうち学識経験者11名に対し、計画において「都市像の実現を牽引する4つの重点政策」に位置づけられている各事業について、事業進捗や評価等についてのヒアリングを実施した。

2 平成30年度における市民参画事業・広報（予定）

策定の初期段階から、広く市民の意見を取り入れることを目的として、下記市民参画事業・広報を行う。

①広報

新総合計画の策定が開始されたことを広く市民へ周知するため、市政だよりの特集記事により、今後の策定スケジュールや市民参画事業等を広報する。

○実施時期：平成30年11月

②市民参画イベント

新総合計画策定のキックオフとして、「未来の仙台はどうあるべきか」「仙台の未来へ向けて市民として何ができるか」について、市民による幅広い議論を行うため、市民参加型のワークショップを開催する。

あわせて、社会活動等の実践者によるパネルディスカッションを行う。

○実施予定時期：平成30年11月25日

③区民参画イベント

新総合計画での区別計画策定に向け、各区ごとに区民参画イベントを開催し、意識醸成を図るとともに、区民意見を集約し、今後の区別計画策定の参考とする。

○実施時期：平成31年2月頃

3 平成31年度以降における市民参画事業・広報（予定）

新総合計画の策定過程について、市政だよりに、新聞広告、ホームページ等により周知することにより、市民の意識醸成を図るとともに、パブリックコメントのほか、市民ワークショップや区民参画イベント等を適宜実施し、幅広く市民意見を聴取する。